

兵庫版
 尼崎市名神町1丁目9-1
 兵庫県借地借家人組合本部
 発行人 田中祥晃
 06-6429-1500
 syakusyaku@m8.dion.ne.jp

全国借地借家人新聞

平日10時～17時迄
 土日祝日休刊



新型コロナ感染からいのちと暮らしを守る署名を成功させよう

PCR検査拡充で感染者の
 早期発見を
 生活困窮者に市独自の
 生活支援を

新型コロナウイルス「何でも相談会」に借地借家人組合をはじめ6団体が呼びかけて緊急事態宣言以降に相談会を8回開きました。

尼崎市は、2度の緊急事態宣言に続き、まん延防止等重点地域に指定され、私たち市民に不要不急の外出や飲食等に時間制限で国民に責任を押し付ける自粛が強調され、医療機関に減収補償、不十分な休業補償では営業が継続できない切実な声が出ています。



4月18日、開かれた署名出発集会

- この間、感染者が下げ止まりから増え続け3度目の緊急事態宣言
- 2、変異株ウィルスに
- 3、市民のいのちと健康を守るために、保健所と保健師を増やして下さい。
- 4、コロナ禍による生

- 1、希望する市民全員、すべての医療機関、福祉施設の職員と利用者全員、すべての学校と園での職員と子供に対し、定期的なPCR検査を国と自治体の責任で実施して下さい。
- 2、変異株ウィルスに
- 3、市民のいのちと健康を守るために、保健所と保健師を増やして下さい。
- 4、コロナ禍による生

生活困窮者に対し、市独自の生活支援金を支給してください。

減収が続く市内事業者に直接支援を行って下さい。

組合では、1000筆を目標に取組みを決め、今度こそ、PCR

検査を拡充して無症状の感染者を早期に発見し、保護し感染を防ぐ。医療機関に減収補償を自粛による休業補償を求めいのちと暮らしを守るために署名を成功させましょう。

大塚 彦

生活困窮者への支援

コロナによる入居困難者に県営住宅が受け入れられ、4月21日兵庫県で新型コロナウイルス感染拡大で住まいに困っている方の支援を発表。

初期費用ゼロ円と3ヶ月分の家賃 前払いなし、現行家賃から減免を行う。

提供戸数を今までより10倍の3000戸に拡大。

| 提供戸数 | : 12市88団地 | |
|-------|-----------|--------|
| 神戸市内 | 750戸 | |
| 阪神南管内 | 450戸 | 2,000戸 |
| 阪神北管内 | 800戸 | |
| 東播磨管内 | 600戸 | |
| 中播磨管内 | 400戸 | |
| 合計 | 3000戸 | |

| 【減免家賃の例】 | |
|---------------|--------------|
| 年収100万円の者が | |
| 西宮浜高層1DKに住む場合 | |
| 家賃: 23,400円 | → 減免で12,500円 |

第3回 組合と私

困った人を見放さない正義感の人

プロフィール
 砂原政好さんは1946年、兵庫県太田市で生まれ、現在は、尼崎市奥田中1丁目35番1号に在住。家族は妻と3人の子供がいます。現在は、家族が営業を継いでいる。ボランティア活動で、生活と健康を守る会、尼崎民主商工会常任理事、アンダンテの会代表を務めている。ボランティア活動の中で借地借家の相談があれば組合の人を紹介。

中学卒業後、15歳から22歳まで埼玉県川口市で製缶製造会社で働いていました。退職後、友人を頼って尼崎市武庫之荘で23歳で今の自営業の建築塗装を始めてから今年で53年になります。

ペンキ塗りをして綺麗になるとお客様から喜ばれて嬉しくなり、やりがいがあります。組合に入ったきっかけは、阪神淡路大震災でアパートが半壊になり、家主から立ち退くようにと裁判になり、困った時に組合でいるアドバイスをいただき無事に和解し、解決して解決金を基に戸建て住宅を購入し、現在は持ち家で何とかコロナと闘いながら暮らしています。

住まいで困った人があれば組合に紹介するように心掛けています。

組合に助けてもらったら終わりではなく、今度は組合員を拡大することで恩返しをしたいと思いい、組合員としてこれからも運動に参加して前に進んで行くことと思っています。

今後よろしく!